

ユーシン

景況レポート

Number.99
(2019.1~3月期)

結城信用金庫

■ このレポートは、当金庫のお客様231企業(回答企業229企業)について、景気の現状と今後の見通しを調査したものです。

調査結果のあらまし

業況は、建設業・不動産業で改善

1月~3月期の概況

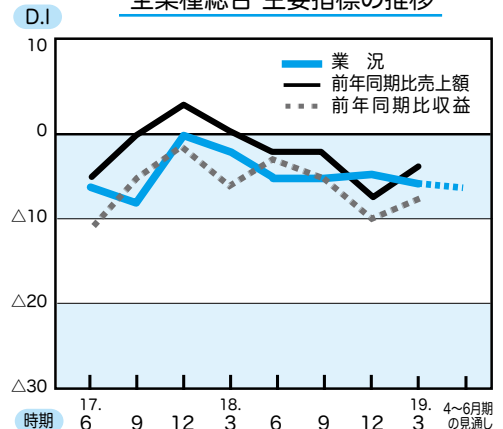
茨城県西地域の中小企業の業況判断D.I(「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を差し引いた指標)は△5.7と、2018年10~12月期(前期)の調査より1.3ポイント低下し、景況感はわずかに悪化しました。

業種別では、製造業で4.2ポイント、卸売業で15.1ポイント、小売業で4.3ポイント、サービス業で6.5ポイント低下しましたが、建設業で13.7ポイント、不動産業で22.3ポイント改善しました。

項目別では、売上判断D.Iが△6.6と前期比7.9ポイント、収益判断D.Iにおいても4.4ポイントともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは△3.9、前期比4.0ポイント、同収益判断D.Iでも△7.9と、2.1ポイントともに改善しました。雇用面では、人手過不足D.Iが△14.0と前期比0.5ポイント低下しました。また、前期比残業時間D.Iにおいても5.7ポイント減少しました。借入金の動きでは、借入したが5.3ポイント低下し、借入難易度では、特に大きな変化は見られませんでした。経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が33.2%、「売上の停滞・減少」が25.8%、「人手不足」が22.3%と上位に挙げられました。

また、特別調査の「中小企業におけるインターネット利用とキャッシュレスへの対応」について、パソコンやスマートフォン等でインターネットを利用していますかの問に対し、「利用しており、自社ホームページも開設」が36.7%と最も多く、次いで、「利用しているが、自社ホームページは未開設」が34.1%と上位に挙げられました。(詳しくは8~9ページに掲載しています)

全業種総合 主要指標の推移



4月~6月期の見通し

業況の見通し判断D.Iは△6.1、当期実績比0.4ポイント低下の見込

来期は、卸売業・不動産業で改善を見込んでいます。項目別では、売上判断D.Iが当期実績比10.6ポイント、収益判断D.Iでも同0.3ポイントの改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iにおいては3.1ポイント低下が見込まれます。雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比0.8ポイント低下、また、残業時間D.Iは0.8ポイントの減少見通しとなっています。当面の重点施策でも、「経費の節減」が51.1%、「販路を広げる」が37.6%、「人材を確保する」が23.6%と上位になりました。

景況天気図

【この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました】

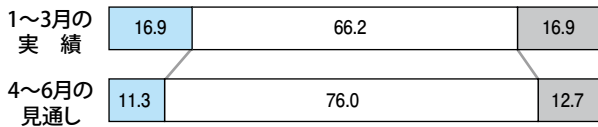
業種名	時期	30年10~12月	31年1~3月	31年4~6月見通し	概要	要
総合		☁️	☁️	☁️	業況判断D.Iは、1.3ポイント低下し△5.7。来期は、0.4ポイント低下し△6.1の見通し。	
製造業		☁️	☁️	☁️	業況判断D.Iは、4.2ポイント低下し0.0。来期は、1.4ポイント低下し△1.4の見通し。	
卸売業		☁️	☔️	☁️	業況判断D.Iは、15.1ポイント低下し△30.3。来期は、12.1ポイント改善し△18.2の見通し。	
小売業		☁️	☔️	☔️	業況判断D.Iは、4.3ポイント低下し△26.8。来期は、4.9ポイント低下し△31.7の見通し。	
サービス業		☁️	☁️	☁️	業況判断D.Iは、6.5ポイント低下し0.0。来期は、3.3ポイント低下し△3.3の見通し。	
建設業		☁️	☀️	☀️	業況判断D.Iは、13.7ポイント改善し19.4。来期は、5.5ポイント低下し13.9の見通し。	
不動産業		☁️	☁️	☀️	業況判断D.Iは、22.3ポイント改善し5.6。来期は、5.5ポイント改善し11.1の見通し。	

好調 ← ☀️ ☁️ ☔️ ☔️ → 低調 / ☔️ ↗️ 業況改善 ↘️ 業況悪化 ↔️ 業況変化なし

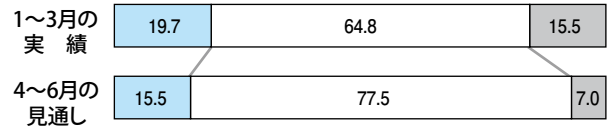
■ 製造業

回答企業数71企業(回答率98.6%)

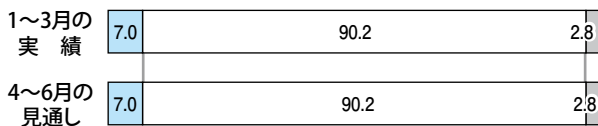
【業況】



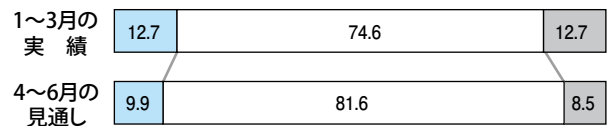
【売上額】



【原材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加(良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

1月～3月期の概況

業況判断D.Iは0.0、前期比4.2ポイントの低下

項目別では、売上額判断D.Iが4.2と前期比6.9ポイント、収益判断D.Iでも0.0と同11.1ポイントともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは7.0、前期比0.1ポイント改善しましたが、同収益判断D.Iは1.4、同4.2ポイント低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△14.1と前期比2.6ポイント改善し、人手不足感がやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは9.9と前期比2.6ポイント減少しました。

借入金の動きでは、「借入した」が16.9%（前期23.6%）、「予定あり」が22.5%（前期20.8%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は15.5%（前期16.7%）となりました。

経営上の問題点では、「人手不足」が29.6%、「同業者間の競争激化」が22.5%、「原材料高」が21.1%と上位に挙げられました。

4月～6月期の見通し

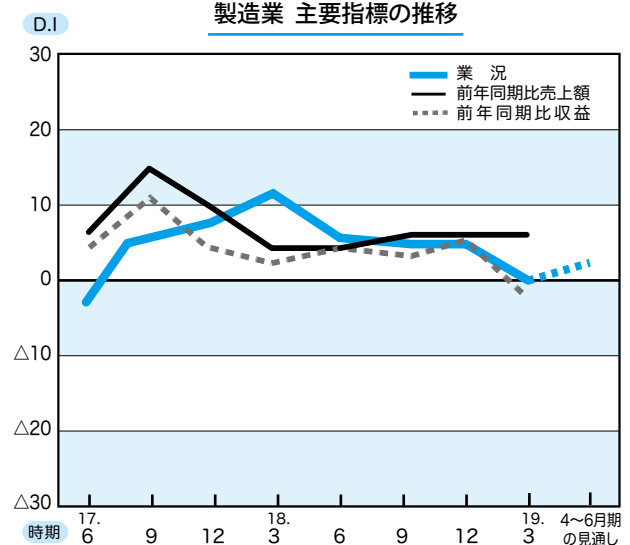
業況の見通し判断D.Iは△1.4、当期実績比1.4ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比4.3ポイント、収益判断D.Iでも同1.4ポイント改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比7.0ポイント低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横這い、残業時間D.Iは同2.9ポイント減少の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が49.3%、「販路を広げる」が47.9%、「人材を確保する」が31.0%と上位に挙げられました。

製造業 主要指標の推移



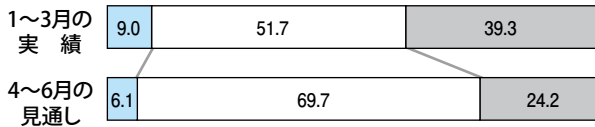
調査員のコメントから

従業員を募集しているが応募が無い。現従業員及び代取も高齢化にあり、人材確保が急務である。

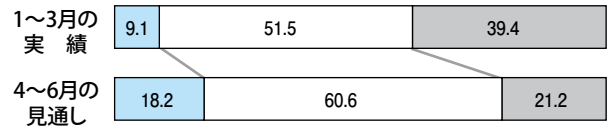
■ 卸 売 業

回答企業数33企業(回答率100%)

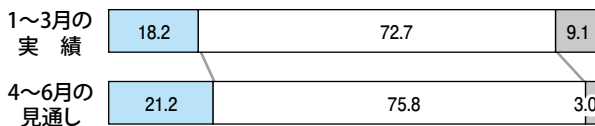
【業 況】



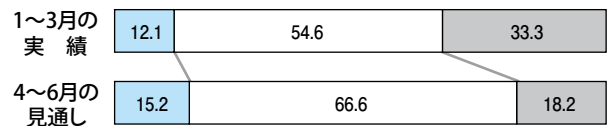
【売上額】



【仕入価格】



【収 益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

1月~3月期の概況

業況判断D.Iは△30.3、前期比15.1ポイントの低下

項目別では、売上額判断D.Iが△30.3と前期比12.1ポイント、収益判断D.Iでも△21.2と同9.1ポイントともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは△15.2、前期比横這い、同収益判断D.Iでは△24.2、同6.0ポイント低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△15.2と前期比横這い、人手不足感に変動はありませんでした。また、前期比残業時間D.Iは△6.1と同15.2ポイント減少しました。

借入金の動きでは、「借入した」が27.3%（前期30.3%）、「予定あり」が15.2%（同9.1%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は9.1%（前期12.1%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が36.4%、「同業者間の競争激化」が33.3%、「取引先の減少」が30.3%と上位に挙げられました。

4月~6月期の見通し

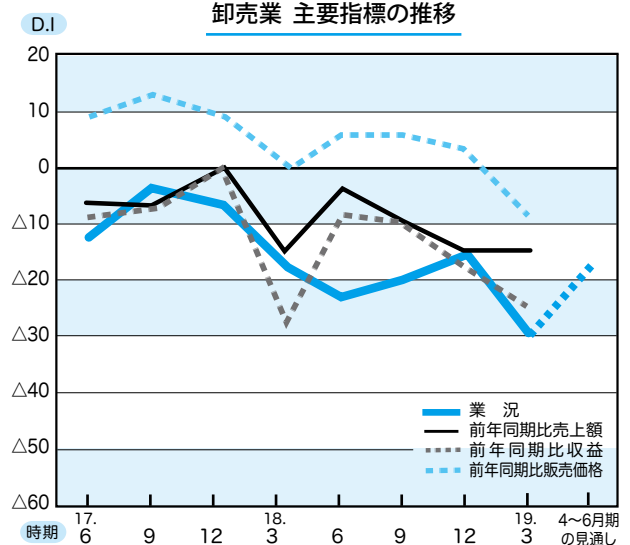
業績の見通し判断D.Iは△18.2と当期実績比12.1ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比27.3ポイント改善、収益判断D.Iでも18.2ポイント共に改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比3.0ポイントの低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iは当期実績比3.0ポイント低下、残業時間判断D.Iは9.1ポイント増加見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が72.7%、「経費の節減」が51.5%、「品揃えを充実する」が21.2%と上位に挙げられました。

卸売業 主要指標の推移



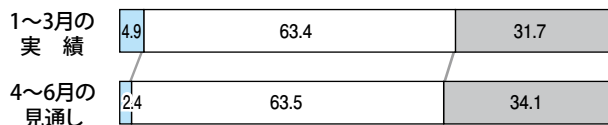
調査員のコメントから

天候不順により在庫管理に苦慮した。また、販売先（小売店）や仕入先の廃業もあり、経営手法の変更を模索中。

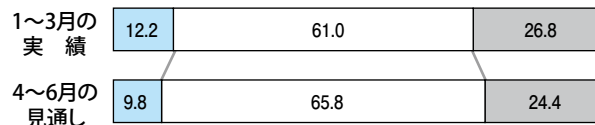
■ 小 売 業

回答企業数41企業(回答率100%)

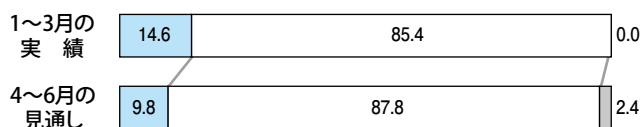
【業 況】



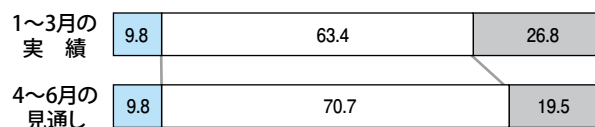
【売上額】



【仕入価格】



【収 益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

1月～3月期の概況

業況判断D.Iは△26.8、前期比4.3ポイントの低下

項目別では、売上額判断D.Iが△14.6と前期比7.1ポイント、収益判断D.Iでも△17.1と同4.6ポイントともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは△24.4、前期比1.9ポイント低下、同収益判断D.Iは△26.8、同0.7ポイント改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△4.9と前期比0.1ポイント改善しました。また、前期比残業時間D.Iは2.5ポイント減少しました。

借入金の動きでは、「借入した」が22.0%（前期32.5%）、「予定あり」が19.5%（前期15.0%）を示しています。また、設備投資を実施したと回答した企業は9.8%（前期2.5%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が43.9%、「大型店との競争激化」が39.0%、「同業者間の競争激化」が34.1%、と上位に挙げられました。

4月～6月期の見通し

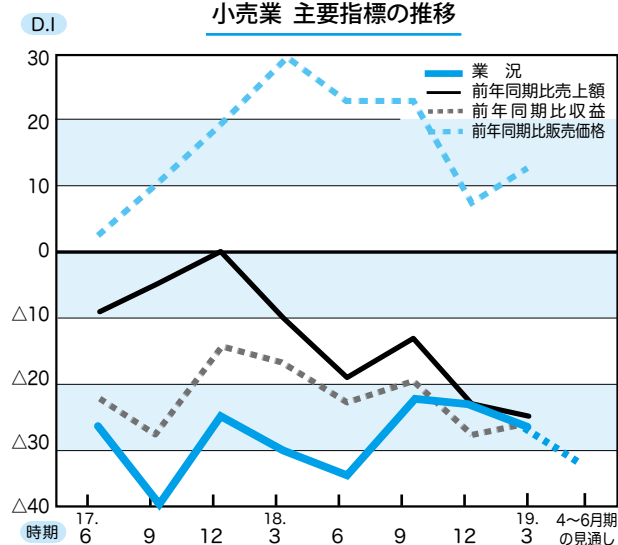
業況の見通し判断D.Iは△31.7、当期実績比4.9ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比横這い、収益判断D.Iでは7.3ポイントの改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比7.4ポイント減少を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iは当期実績比2.4ポイントの低下、残業時間判断D.Iにおいても同2.4ポイント減少の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が63.4%、「品揃えを改善する」が34.1%、「宣伝・広告の強化」が31.7%と上位に挙げられました。

小売業 主要指標の推移



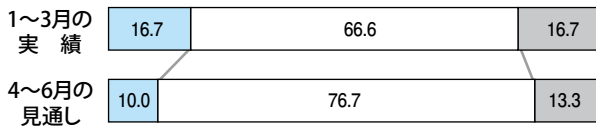
調査員のコメントから

大型店との競合に加え、ネット通販の影響もあり、更に売上・利益共に減少し厳しさは増すばかりである。

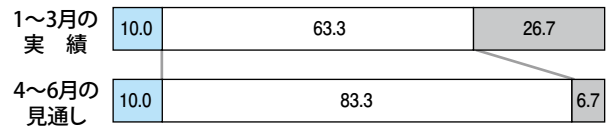
■ サービス業

回答企業数30企業(回答率96.8%)

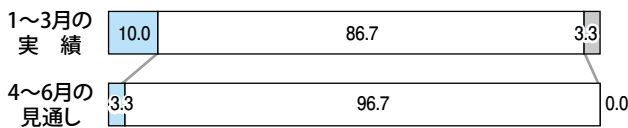
【業況】



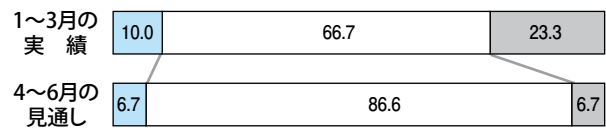
【売上額】



【材料価格】



【収益】



増加・やや増加(良い・やや良い)
 変わらず(変化無し)
 やや減少・減少(やや悪い・悪い)

1月~3月期の概況

業況判断D.Iは0.0、前期比6.5ポイントの低下

項目別では、売上額判断D.Iが△16.7、前期比29.6ポイント、収益判断D.Iでも△13.3と同13.3ポイントともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは△6.7、前期比6.2ポイント、同収益判断D.Iでは△6.7、同6.2ポイントとともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△13.3と前期比10.1ポイント低下し、人手不足感があります。また、前期比残業時間D.Iは△10.0と前期比13.2ポイント減少しました。

借入金の動きでは、「借入した」が16.7%（前期19.4%）、「予定あり」が6.7%（前期12.9%）を示しています。また、設備投資を実施したと回答した企業は3.3%（前期0.0%）となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が40.0%、「売上の停滞・減少」が26.7%、「人手不足」が23.3%と上位に挙げられました。

4月~6月期の見通し

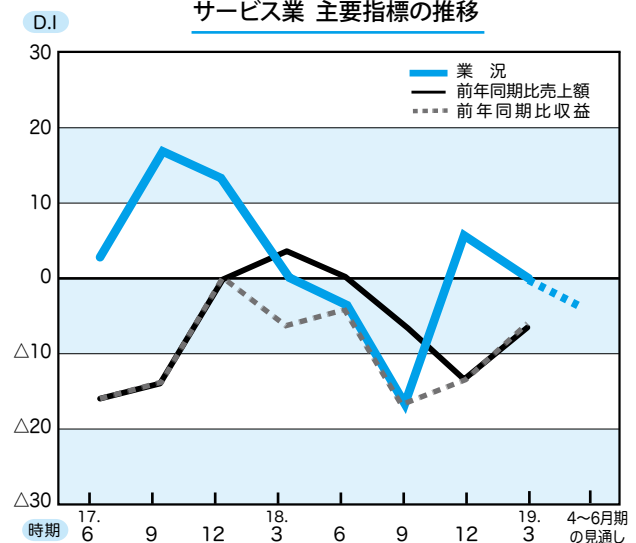
業況の見通し判断D.Iは△3.3、当期実績比3.3ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比20.0ポイント、収益判断D.Iでも13.3ポイント共に改善を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比3.4ポイントの低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比3.4ポイントの低下、残業時間判断D.Iが3.3ポイントの増加見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が53.3%、「宣伝・広告の強化」が26.7%、「販路を広げる」が23.3%と上位に挙げられました。

サービス業 主要指標の推移



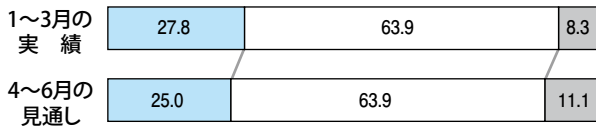
調査員のコメントから

従業員確保が経営上の大きな課題であるため、外国人の採用を増やす方向で計画。

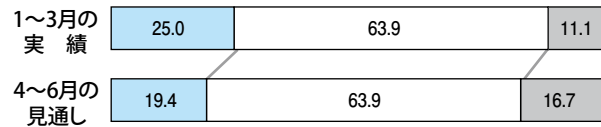
■ 建設業

回答企業数36企業(回答率100%)

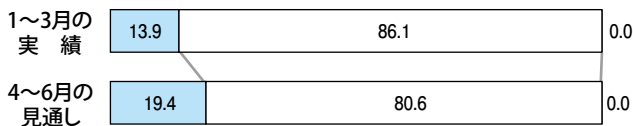
【業況】



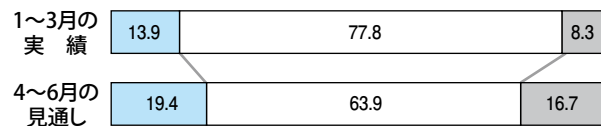
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

1月～3月期の概況

業況判断D.Iは19.4、前期比13.7ポイントの改善

項目別では、売上額判断D.Iが13.9と前期比3.2ポイント低下、受注残判断D.Iは30.6と同19.2ポイント改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは2.8、前期比5.7ポイント、同収益判断D.I△2.8、同2.9ポイント共に改善となりました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△22.2と前期比3.5ポイント改善しましたが、まだ、人手不足感が残ります。また、前期比残業時間D.Iは2.8と前期比8.6ポイント減少しました。

借入金の動きでは、「借入した」が36.1%（前期42.9%）、「予定あり」が30.6%（前期31.4%）を示しています。また、設備投資を実施したと回答した企業は8.3%（前期17.1%）となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が41.7%、「人手不足」が38.9%、「利幅の縮小」が27.8%と上位に挙げられました。

4月～6月期の見通し

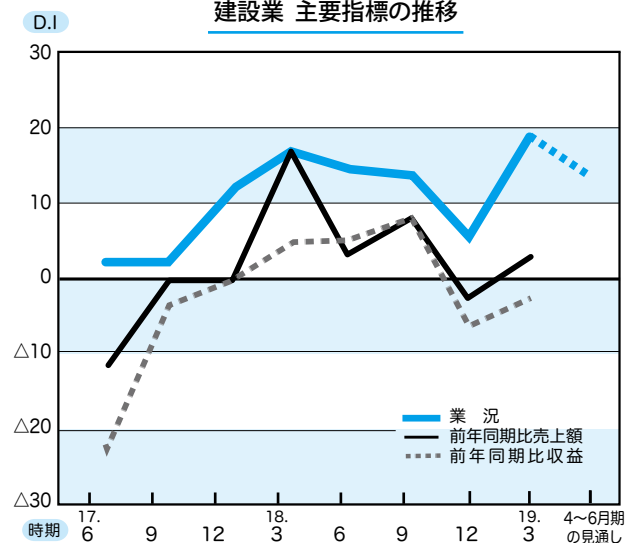
業況の見通し判断D.Iは13.9、当期実績比5.5ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比11.1ポイント、収益判断D.Iでも同2.8ポイント共に低下を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比5.5ポイントの上昇を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比2.8ポイントの改善、残業時間判断D.Iは8.4ポイントの減少見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が55.6%、「人材を確保する」が41.7%、「販路を広げる」が38.9%と上位に挙げられました。

建設業 主要指標の推移



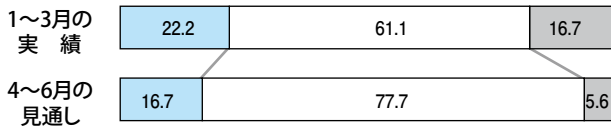
調査員のコメントから

業況は比較的安定。しかし、受注に対して人員確保が難しく、今後、消費税増税時の影響が懸念される。

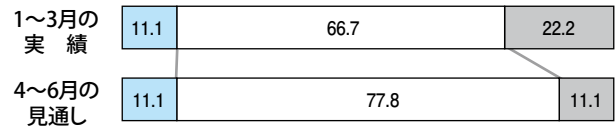
■ 不動産業

回答企業数18企業(回答率100%)

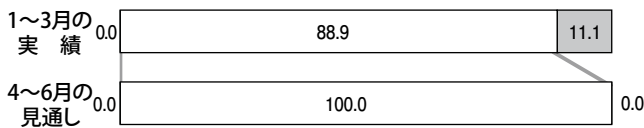
【業況】



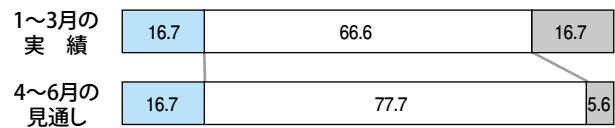
【売上額】



【仕入価格】



【収益】



■ 増加・やや増加(良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

1月~3月期の概況

業況判断D.Iは5.6、前期比22.3ポイントの改善

項目別では、売上額判断D.Iが△11.1と前期比22.2ポイント、収益判断D.Iでも0.0と同38.9ポイントともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは11.1、前期比33.3ポイント、収益判断D.Iは16.7、同38.9ポイントともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△16.7と前期比5.6ポイント低下し、人手不足感があります。また、前期比残業時間D.Iは5.6と同11.2ポイント増加しました。

借入金の動きでは、「借入した」が27.8%（前期22.2%）、「予定あり」は27.8%（前期27.8%）を示しています。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が44.4%、「利幅の縮小」が33.3%、「大手企業との競争激化」・「商品物件の不足」がそれぞれ22.2%と上位に挙げられました。

4月~6月期の見通し

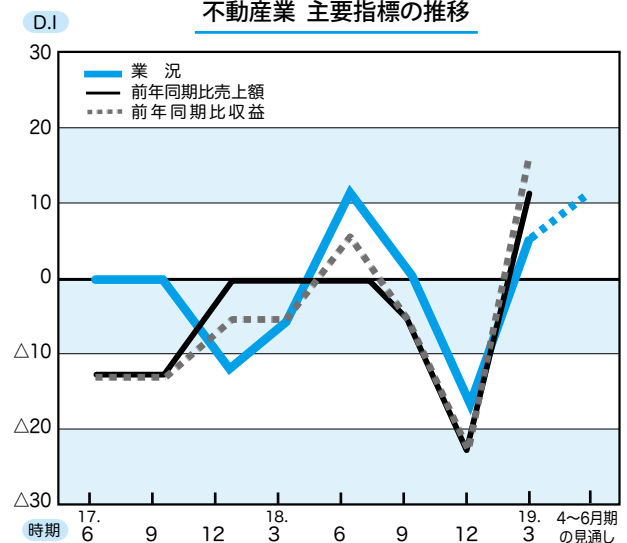
業況の見通し判断D.Iは11.1、当期実績比5.5ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比11.1ポイント、収益判断D.Iでも同11.1ポイント共に改善を見込んでおります。また、販売価格判断D.Iは当期実績比22.2ポイントの改善を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横這い、また、残業時間D.Iも同横這いの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「宣伝・広告の強化」・「情報力の強化」がともに44.4%、「販路を広げる」が38.9%と上位に挙げられました。

不動産業 主要指標の推移



調査員のコメントから

商圏の人口減少に伴い取引数の減少が懸念。尚、外国人客からの相談が増えてきている。

特別調査

中小企業におけるインターネット利用とキャッシュレスへの対応について

「中小企業におけるインターネット利用とキャッシュレスへの対応」について調査を実施しました。

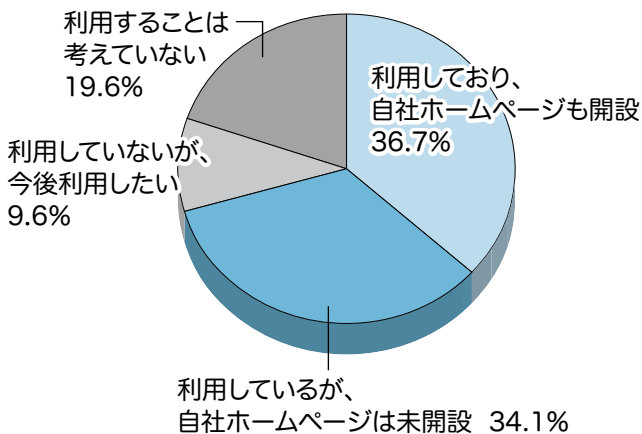
貴社では、事業上の情報収集・情報発信等において、パソコンやスマートフォン等でインターネットを利用していますかの質問に対し、「利用しており、自社ホームページも開設」との回答が36.7%と最も高く、次いで「利用しているが、自社ホームページは未開設」との回答が34.1%という結果となりました。

また、同様に事業上で電子メールを利用していますかの質問に対しは、「利用している」との回答が57.6%と最も高く、「利用していないが、今後利用したい」との回答が13.1%という結果となりました。そのほか、キャッシュレスへの対応についての結果を、次のように取り纏めました。

問1

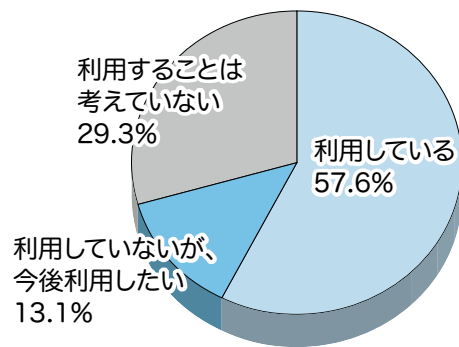
貴社では、事業上の情報収集・情報発信等において、パソコンやスマートフォン等でインターネットを利用していますか。また、同様に事業上で電子メールを利用していますか。

【インターネットの利用(割合)】



【電子メールの利用(割合)】

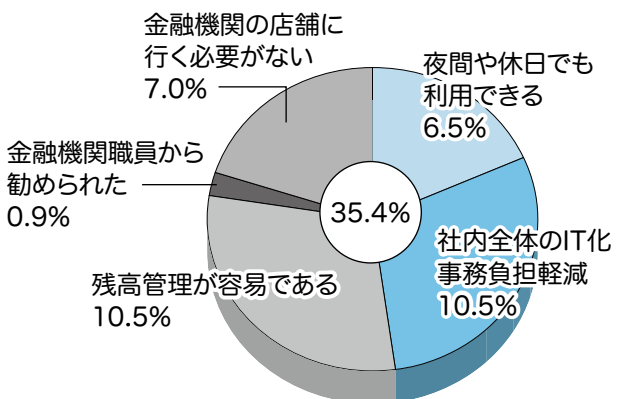
(単位:%)



問2

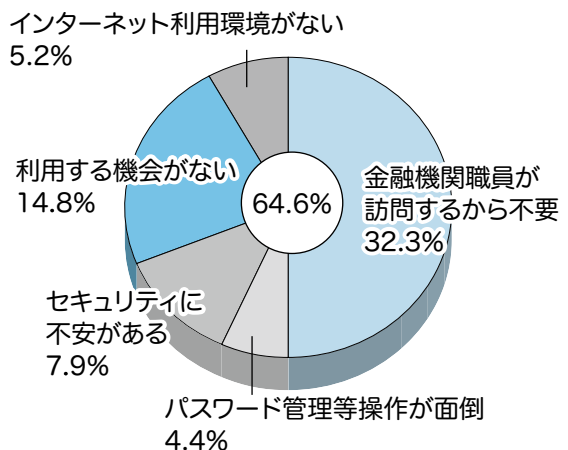
貴社では、インターネットバンキングを利用していますか。利用している方は、利用している主な理由をお答えください。利用していない方は、利用していない主な理由をお答えください。

【利用している(割合)】



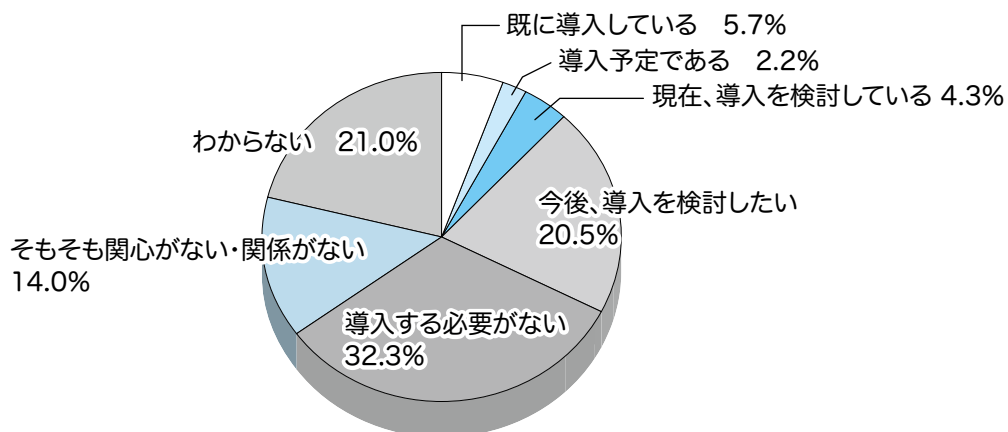
【利用していない(割合)】

(単位:%)



問3

2019年10月予定の消費税率引上げにあたって、政府はキャッシュレス決済をすればポイント還元することを検討しています。こうしたキャッシュレス決済を推進する政府の姿勢に対して、貴社ではキャッシュレスについてどのような対応を考えていますか。(単位:%)

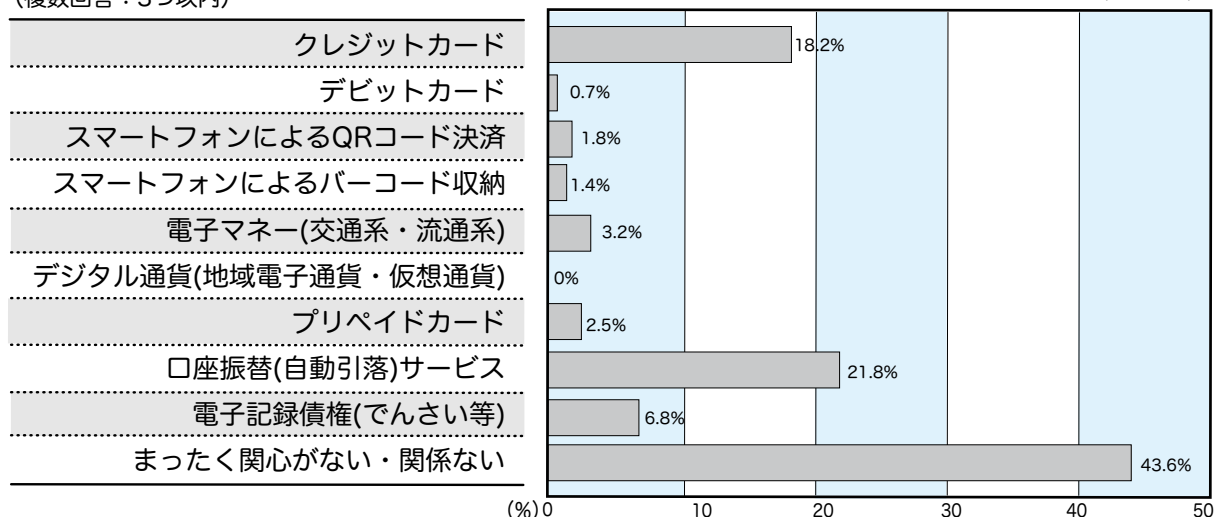


問4

貴社では、取引先や顧客との決済にあたって、現在、どのようなキャッシュレス支払手段を活用していますか。主に活用しているキャッシュレス支払手段を選んでお答えください。

(複数回答：3つ以内)

(単位:%)

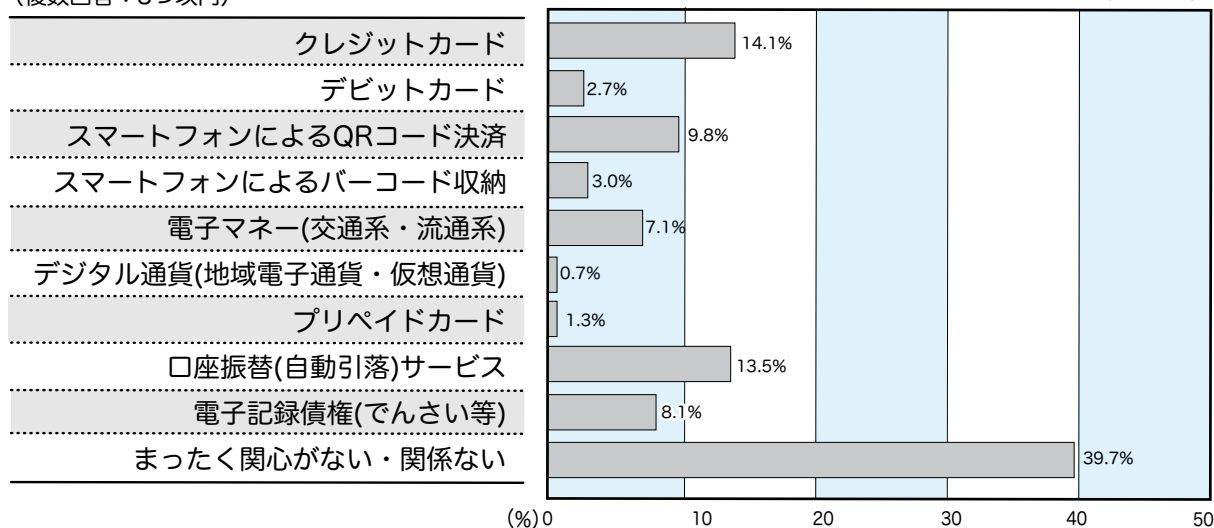


問5

貴社では、取引先や顧客との決済にあたって、今後ともさらに活用していきたい、もしくは今後活用をしたいと考えているキャッシュレス支払手段はありますか。

(複数回答：3つ以内)

(単位:%)



地域活性化融資

「上昇機運」

短期間の資金もご利用できます。

売上増加

経営安定

収益向上

宣言!

ユーシンは、中小企業の皆さんを応援し、地域の活性化をサポートします。

ご融資：
金額： 最高 5,000 万円

ご融資：
期間： 10 年以内

お取扱期間 2019年4月1日(月)～2020年3月31日(火)

※審査の結果、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承下さい。

詳しくはお近くの結城信用金庫までお気軽にお問い合わせ下さい。

— 後 記 —

ユーシン景気動向調査に、ご理解とご協力を頂きまして、厚くお礼申し上げます。皆さまのご意見、ご希望をどしどしお寄せください。

結城信用金庫営業統括部

〒307-8601 結城市大字結城557番地
TEL (0296)32-2110 FAX (0296)33-0414
Eメール yukisb@intio.or.jp <http://www.shinkin.co.jp/yuki/>